



TOHOKU
UNIVERSITY

2023

教育学研究科

生涯教育学科学コース
教育情報アセスメントコース

教育政策科学コース
教育心理学コース

グローバル共生教育論コース
臨床心理学コース

学びの 最前線に 立つ

東北大学教育学部

東北大学大学院教育学研究科

Graduate School of Education/Faculty of Education

大学について



世界大学ランキング
日本版 **1** 位

※「Times Higher Education (THEイギリスの高等教育専門誌)」
によるTHE世界大学ランキング日本版2021



敷地面積

約 **2,200** 万m²

※「東北大学概要」掲載データ (R3.7.1現在で所有:21,904,883m²)

設立年 (東北帝国大学創立)

1907 年



附属図書館蔵書数

本館 (教育学部と同じキャンパス) の蔵書数

図書 **2,855,272** 冊

雑誌 **45,208** 種類



※「東北大学概要」掲載データ (R3.3.31現在)

学部について

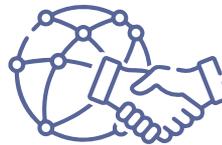


教育学部設置

1949 年

教育学科、学校教育学科、特殊教育学科、2年制教員養成課程

学術交流協定締結校



19 校

学生数



302 名

R4.5/1現在の学部生総数

男女比

49:51

1学年学生数



75 名

R4年度学部入学者数

男女比

43:57

教員数



40 名

R4年度

教員と学生の比率

9.15

数字で見るについて
詳しくはこちら





生涯を通じた教育という営みに、
幅広い方法でアプローチしていく。

野口 和人

東北大学
大学院教育学研究科長・教育学部長

教育という営みは、学校の場にとどまらず、空間的にも時間的にも広大な拡がりをもっています。一人のヒトが生まれて以降、その生涯を通じて、様々な形で教育という営みに関わります。また、そのような営みは、歴史的に連綿と続けられてきており、現在も世界の各地でそれぞれの形をもって行われています。

一方で、このような営みが滞る場合もあります。世界的に見れば、十分な教育を受けることができない子どもたち、教育という営みに参加できない人たちが多数存在しています。また、日本国内においても、様々な事由により、この営みに十分に参加できない、関わっていくことができない子どもたち、人たちが存在しています。このような状況は、何としても変えていかななくてはなりません。

また、大学という場は、次の社会を担う人材を育てていく場でもあります。ゆえに、大学という学びの場自体の在り方についても常に問うていく必要があります。

私たちは、これらの課題を含め、広く教育について、哲学的、歴史的、制度的なアプローチや心理学的アプローチ、さらには、これらを基盤としてAIやロボティクス、ビッグデータ処理などを交えた文理融合的なアプローチなど、様々な方法でアプローチしています。



学びの最前線に立つ

CONTENTS

COURSES

教育学研究科の紹介

- 05 生涯教育科学コース
教育政策科学コース
グローバル共生教育論コース
- 06 教育情報アセスメントコース
教育心理学コース
臨床心理学コース

教育学部の特徴と学習の流れ

- 07 教育学コース
教育心理学コース

CAMPASLIFE

学生インタビュー

- 08 学生インタビュー

施設紹介

- 10 施設紹介

各種データ

- 11 各種データ

取り組み

- 12 取り組み

STUDENT'S SUPPORTS

学生支援制度

- 14 学生支援制度の紹介

論文・研修

- 15 論文・研究紹介一覧

Q&A

- 16 東北大学教育学部Q&A

生涯教育科学コース

人間の誕生から死にいたるまでのプロセスを研究する手法を学ぶ

持続可能で公正な社会の形成に資するため、生涯にわたる人間形成と教育のあり方について、原理的、巨視的、社会的な視点から深く理解し、知識基盤社会、生涯学習社会に必要な洞察力、企画力、実践力を有する人材を育成することを目的としています。具体的には、教育を「人間形成」のプロセスとして広くとらえ直し、学校という制度化された学びの場のプロセスだけでなく、人間の誕生から死にいたるまでのプロセスを、哲学、歴史、社会学、文化人類学の視点から研究する手法を学ぶことができます。

Faculty Members

甲斐 健人
教授・スポーツ文化論

八 嶽 友広
教授・人間形成史

李 仁子
准教授・人間形成論

石井山 竜平
准教授・社会教育学

澤田 哲生
准教授・人間形成論

鷺谷 洋輔
准教授・スポーツ文化論

生涯教育科学コースについて
詳しくはこちら



教育政策科学コース

政治・経済・社会が複雑に絡み合う課題の解決能力を育成

財政危機や少子高齢化とともに民族・文化の多様化が進む国々では、効率的な資源配分だけでなく異質かつ多様な人びとの公正な処遇という観点からも教育政策を考えていく必要があります。本コースでは、教育社会学、教育行政学及び比較教育学の学問領域を「教育政策科学」という共通の枠組みのもとに統合した教育プログラムを提供することで、上記のような政治・経済・社会が複雑に絡み合う課題の解決に求められる、幅広い視野からの課題発見能力、高度な分析能力及び批判的思考力をバランスよく備えた人材を育成していきます。

Faculty Members

青木 栄一
教授・教育行政学

島 一則
教授・教育社会学

福田 亘孝
教授・教育社会学

井本 佳宏
准教授・比較教育学

後藤 武俊
准教授・教育行政学

教育政策科学コースについて
詳しくはこちら



グローバル共生教育論コース

グローバル化する社会における新しい教育の実践と研究ができる人材を育成

グローバル化する世界における複合的で多様な課題に対応し、持続可能な社会を構築するための新しい教育のあり方への変容が求められています。本コースでは、学校教育、成人教育、国際教育開発、多文化教育という学際的な観点から、知識伝達型のこれまでの教育を問い直し、価値観の異なる人々と協働しつつ「正解のない」新たな状況に当事者意識を持ち対応できる教育や実践を探究します。本コースでの学びを通し、グローバル化する社会における教育の課題を、ローカルな現場にも立脚しながら重層的に把握し、多様性の尊重、公正、社会正義といった現代社会に求められている価値観や倫理観に基づき分析し、実際的な問題解決に貢献できる専門能力を有する研究者と実践者を育成します。

Faculty Members

谷口 和也
准教授・学校教育論

松本 大
准教授・成人教育論

劉 靖
准教授・国際教育開発論

末松 和子
教授・多文化教育論
(協力講座教員)

高橋 美能
准教授・多文化教育論
(協力講座教員)

渡部 由紀
准教授・多文化教育論
(協力講座教員)

曹 蕾
助教・国際教育開発論

グローバル共生教育論コースについて
詳しくはこちら



教育情報アセスメントコース

学びのイノベーションを視野に入れ
アセスメントの基礎を固める

現代の教育・学習環境のデザインにあたっては、すべての人びとに開かれた学習機会の提供という観点からInformation and Communication Technology (ICT)のより発展的かつ有効な導入が求められています。そこでは、ICTを駆使した教育プログラムの開発だけでなく、そのプロセスや効果の検証・アセスメントが重要になってきます。本コースでは、日本社会の成熟化、少子化、価値の多元化が進む知識基盤時代の教育にふさわしい、学びのイノベーションを視野に入れつつ、アセスメントの基礎を固め、客観的なデータ・根拠にもとづいて教育を測定し評価するために必要な専門的能力・スキル・知識を修得した人材を育成していきます。

Faculty Members

有本 昌弘
教授・教育評価測定論

柴山 直
教授・教育評価測定論

佐藤 克美
准教授・教育情報デザイン論

倉元 直樹
教授・教育情報デザイン論
(協力講座教員)

熊井 正之
教授・教育情報デザイン論

渡部 信一
教授・教育情報デザイン論

中島 平
准教授・教育情報デザイン論

宮本 友弘
教授・教育情報デザイン論
(協力講座教員)

小嶋 秀樹
教授・教育情報デザイン論

熊谷 龍一
准教授・教育評価測定論

松林 優一郎
准教授・教育評価測定論

佐藤 智子
准教授・教育評価測定論
(協力講座教員)



教育情報アセスメントコースについて
詳しくはこちら

教育心理学コース

教授・学習や人間発達のしくみと
その支援ニーズを心理学的観点でとらえる

教育心理学における「教育」とは、広く、人と人がかかわる場面の問題としてとらえることができます。例えば、分数の掛け算につまずく小学生にどのように教えたらよいのか、なぜ中学生の非行発生率は他の世代より高いのか、自閉症スペクトラム障害などのコミュニケーションに困難を抱える子どもたちをどのように支援していけばよいのか、などです。本コースでは、こうした教授・学習や人間発達のしくみ、ならびに発達過程における障害や支援ニーズに対して、心理学的観点から多面的・多角的にとらえ、そのメカニズムを明らかにすることで、その理論および実際の心理的支援や教育的支援を実証的手法により開発できる人材、ならびに心理専門職を養成する人材を育成します。

Faculty Members

神谷 哲司
教授・発達心理学

野口 和人
教授・発達障害学

工藤 与志文
教授・教授学習心理学

川崎 聡大
准教授・発達障害学

長谷川 真里
教授・発達心理学



教育心理学コースについて
詳しくはこちら

臨床心理学コース

心理専門職として
広く社会に貢献できる人材を養成

子どもや成人をめぐる心理社会的問題を見ると、学校における不登校やいじめの問題、度重なる災害による問題、虐待やハラスメントなど家庭や組織での問題など様々な領域で、その深刻さを増しつつあります。本コースでは、様々な領域において心理的問題を擁する方々やその家族に対する援助についての新たな知見を見出す研究者を養成し、また、相談や援助の業務に従事する公認心理師や臨床心理士の受験資格を取得し、心理専門職として、広く社会に貢献できる人材を養成します。

Faculty Members

若島 孔文
教授・臨床心理学
・家族心理学

前田 駿太
准教授・臨床心理学
・生理心理学

安保 英勇
准教授・臨床心理学
・コミュニティ心理学

吉田 沙蘭
准教授・臨床心理学
・医療心理学

本多 奈美
准教授・臨床心理学
・精神医学

シュレンベル レナ
助教・臨床心理学
・コミュニティ心理学



臨床心理学コースについて
詳しくはこちら

教育学部の特徴と学習の流れ

東北大学教育学部では、4年間を通じた、柔軟で一貫性のある教育プログラムを実施しています。1年次においては、全学教育科目を中心としながら、幅広い教養の形成を行います。2年次以降、専門科目の授業を受講していきます。その際、「教育学コース」と「教育心理学コース」のいずれかを選択することとなります。3年次の前期の間に指導教員を決定し、後期から研究指導が開始されます。これらをふまえて、4年次には卒業研究を行っていきます。



コース選択(2年次後期)

教育学コース

教育の思想・歴史・組織・制度や、教育の内容・方法・組織(学びのイノベーション含む)と社会諸制度との関わりなど、多面的な教育の諸現象について、教育学および教育に関連する諸学問の内容を学び、自ら課題を設定して研究に取り組みます。文献講読・フィールド調査・実験・社会調査などを行い、教育学の研究方法を修得します。そして、その成果を卒業研究としてまとめます。

教育心理学コース

教育や発達・適応に関する諸現象について、人間行動・心理の状態に関わる側面から、心理学的な概念や理論を学び、教育や発達・適応上の諸問題を解明するために自ら課題を設定して研究に取り組みます。文献講読・行動観察・実験・質問紙調査などを行い、ICTリテラシーなどを学びます。そして、その成果を卒業研究としてまとめます。また公認心理師のためのカリキュラムも準備されています。

コース選択について
詳しくはこちら



学生インタビュー VOICE

総合大学ならではの幅広い教育機会と国際色の豊かさが、
研究を後押ししてくれます

今井 八彩 *Amai Yairo*

教育学部教育科学科
教育学コース 4年
東京都立西高等学校 出身

私の研究テーマと目標

幼少期の経験から国際理解教育に
興味をもつようになりました

小学時代を東京都の国際色豊かな学校で過ごし、その後地方の学校に
転校した経験から、国際理解教育の地域間での格差に興味をもつよう
になりました。そこで現在は、国際理解教育に力を入れていた母校卒業
生のその後を追うことで、国際理解教育において重要な要素を明らかに
できないかと研究に取り組んでいます。教育学部で培われる思考力は、
分野を問わず社会に出てからも活かせるものです。将来は人々の生活に
役立つ仕事、環境問題などにも取り組んでいきたいと思っています。



教育学部の魅力

少人数教育で将来に役立つ視点を養える

東北大学教育学部は、子供から大人まで人生のすべての段階を「教育」として捉えて研究する学部です。研究対象のバリエーションが豊かで、「教育現場の労働環境」について研究している人もいれば、「被災地」に関する研究をしている人もいます。入学以前の私は関心のあることが多かったのですが、幅広い研究テーマをもつ教育学部が合っていると思い志望しました。

実際に入学して感じたのは、さまざまな視点をもつことの大切さです。教育学部では、概念的な研究から、現代社会に関心を向けた実践的な研究まで、「抽象」と「具体」、どちらの視点も駆使して研究を進めていきます。特にゼミの研究指導では、少人数教育の良さを活かしてその視点を鍛えていただき、自分の進路を考える上でも力になりました。

総合大学ならではの充実した「全学教育」も魅力です。文系理系問わず基盤的な教育を受けることができ、教育学部の授業だけではたどり着けない発想を他学部の人との関わりの中から得ることもあります。留学生と生活をともにする「ユニバーシティ・ハウス」に住んでいたときには、生活習慣の違いに驚くこともありましたが、外国語の宿題をみてもらったりパーティーを開いたり、有意義な生活を送ることができました。わざわざ国際交流団体等に所属しなくても留学生と交流する機会がたくさんあるのは、国際色豊かな東北大学ならではの魅力です。こうした多様性のある環境は、すべて「教育」について考えを深めるきっかけになっています。



今井さんのとある一日 *Time Schedule*

低学年(1・2年)

- 7:30 起床
- |
- 9:00 ルームメイトと学食で朝食
- |
- 10:30 2限「教育学研究入門」
- |
- 12:00 昼休みを利用してサークルのミーティング
- |
- 13:00 学部の友人とカフェで昼食
- |
- 14:40 4限「異文化理解(全学教育)」
- |
- 16:20 5限「第二外国語」
- |
- 18:00 学食で夕食
- |
- 19:30 ジムで運動
- |
- 21:00 授業の予習・復習
- |
- 22:30 自由時間・ルームメイトと談笑
- |
- 24:30 就寝

高学年(3・4年)

- 7:30 起床
- |
- 8:00 朝食
- |
- 10:00 アルバイト(レジャー施設)
- |
- 16:20 5限「教育哲学講義Ⅱ」
- |
- 18:00 プロ野球の試合中継を見ながら夕食
- |
- 19:00 ゼミ(教育行政学)の課題
- |
- 20:30 オンデマンド授業「死生学各論(他学部履修)」
- |
- 22:00 自由時間・メールチェック(就職活動)
- |
- 24:00 就寝

翌日休みの日には夜行バスで埼玉に行き
大好きな野球観戦を楽しみます。
授業終わりに仙台の球場に行くことも!





図書室 *Library*

研究棟6階に位置する教育学部の図書室は、フロアの半分ほどを占める広さを有しており、専門スタッフ2名が配置されています。閲覧用の大きなテーブルと椅子、キャレル(個人学習用の閲覧ブース)、コピー機、図書検索用のパソコンなどが備えられています。教育関連の専門書、雑誌、大学紀要など1万冊近くの蔵書が、開架式の書棚と12連の電動集密書架に所蔵されており、学生や教職員の教育・研究に大きな役割を果たしています。



コンピュータ実習室 *Computer Room*

コンピュータ実習室には、コンピュータ30台とプリンタ3台が設置されていて、各コンピュータにはワープロや表計算などの基本的なソフトをはじめ、4種類のデータ解析ソフトがインストールされています。室内にはソフトの使用方法やデータ解析を学ぶためのテキストも備え付けられていて、授業や講習会などに利用されるとともに、学生が研究や学習をすすめるために活用しています。

Facility 施設紹介 luction

施設紹介について
詳しくはこちら



実験室 *Laboratory*

学習(人間が学び理解するメカニズム)に関する各種実験、認知(種々の感覚に基づく人間の情報処理)に関する各種実験、脳波等の生理心理学検査と聴力測定、各種の個別心理検査、集団間の相互作用の様子についての行動観察などを進めるための施設です。また、これらの観察記録や分析のためのシステムも整っています。



リフレッシュルーム *Refresh Room*

学生の自己学習を促す、本研究科独自の施設です。各フロアに1箇所ずつ設置され、学生の休息や語らいの場であるとともに、自主ゼミや研究会などに使える施設となっています。眺望の良い明るい部屋には、ソファコーナーのほかに、ミーティングテーブル、プレゼンテーション用の大型モニター、ホワイトボードなどが設置され、学生はいつでも自由に使用できるようになっています。



教育学部

東北大学教育学部でとれる資格

令和3年度 学部卒業生の進路

- 教員免許状(一種)
中学校(社会)、高等学校(公民)
※ただし他学部の授業との組み合わせで他の教科の免許状を取得することができる
- 社会教育主事
※任用資格、社会教育士(称号)
- 学芸員
※文学部の科目を履修する必要あり
- 公認心理師
※一部、文学部の科目を履修する必要あり
※ただし「受験資格を得る」だけで試験を受ける必要がある



公務員・教員(約26%)

防衛省、参議院事務局、岩手県庁、宮城県庁、北海道庁、栃木県庁、長野県庁、石川県庁、宮城県警、仙台市役所、川崎市役所、藤枝市役所、姫路市役所、高等学校(北海道・栃木県)

企業(約41%)

東日本電信電話株式会社、株式会社電通、野村不動産株式会社、三菱地所株式会社、株式会社NTTデータ、株式会社帝国データバンク、株式会社オリエンタルランド、株式会社オカムラ、株式会社三井住友銀行、日本生命保険相互会社、株式会社あいおいニッセイ同和損害保険

大学院進学(約19%)

東北大学大学院教育学研究科、東北大学公共政策大学院、東京大学大学院教育学研究科、情報科学芸術大学院大学

教育学部進路について詳しくはこちら



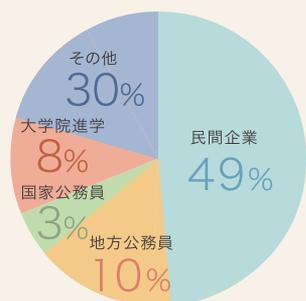
教育学研究科

東北大学大学院教育学研究科でとれる受験資格

- 公認心理師
 - 臨床心理士
 - 臨床発達心理士
- ※ただし「受験資格を得る」だけで試験を受ける必要がある

令和3年度 大学院(修士)修了生の進路

教育学研究科進路について詳しくはこちら



公務員(約13%)

法務省、神奈川県庁、宮城県教職員、山形県教職員

企業(約49%)

株式会社NTTデータSMS、株式会社ユアテック、ウェルビー株式会社、金森和心会針生ヶ丘病院、児童発達支援事業所みらい、株式会社ひよこのみらい、ぴっぴ名取、仙台保健福祉専門学校、岩手県青少年育成県民会議、日本女子大学、東北大学

大学院進学(約8%)

東北大学大学院教育学研究科

令和3年度 大学院(博士)修了生の進路

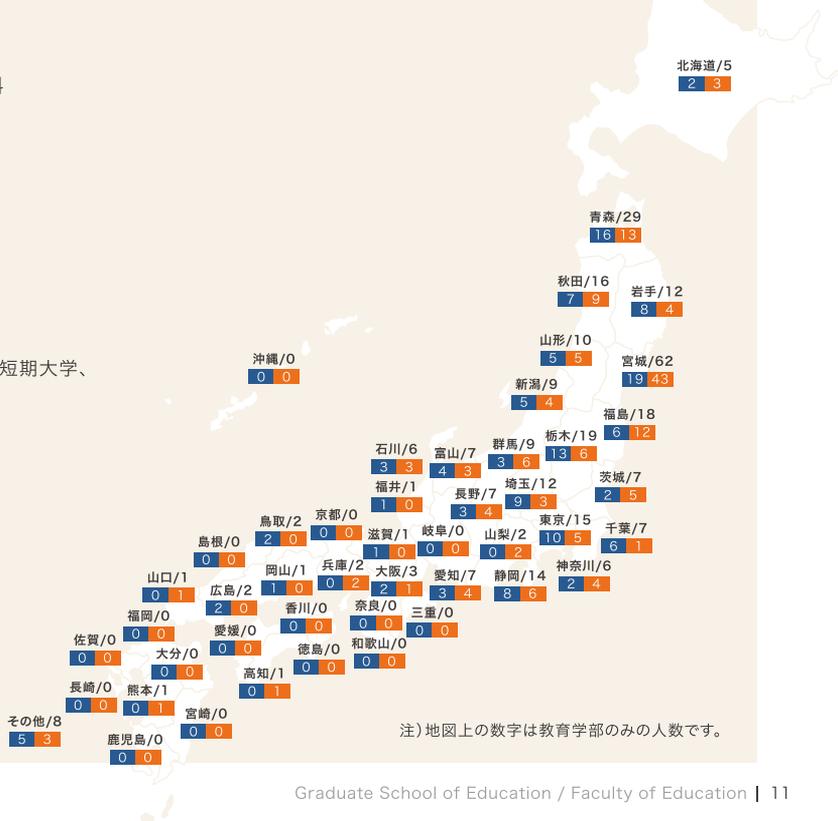
学校(約100%)

米子工業高等専門学校、白鳳短期大学、山形県教職員



教育学研究科
教育学部の在学者数
(2022年5月1日 現在)

	男性	女性	合計
教育学部	148名	154名	302名
教育学研究科 前期課程	34名	63名	97名
教育学研究科 後期課程	40名	34名	74名



心理支援センター

研究科における心理学の基礎的研究や臨床研究の成果を地域社会に還元し、個人、家族、地域あるいは災害被災者に対する相談援助を行うとともに、公認心理師・臨床心理士養成のための実践的教育訓練を行うことを目的としています。センターには、臨床心理相談室、災害心理支援室、発達・学習心理相談室が置かれており、2020年度末に終了した震災子ども支援室“S-チル”の事業内容を、緊急支援・被災者支援・震災・防災心理教育として災害心理支援室で継続しています。また、既存の臨床心理相談室の支援体制を発展させ、さらに多様な専門性(発達・学習相談、遠隔支援など)を総合的に活用できる支援体制を構築しました。



STAFF スタッフ

若島 孔文 センター長・災害心理支援室室長・教授
長谷川 真里 副センター長・教授

安保 英勇 臨床心理相談室室長・准教授
川崎 聡大 発達・学習心理相談室室長・准教授

心理支援センターについて
詳しくはこちら



臨床心理相談室

子どもの不登校やいじめ問題をはじめ、職場や生活でのストレスや葛藤を持つ人々やその家族に対して、心理査定を含めた臨床心理面接を実施し、地域社会に貢献するとともに、臨床心理士(臨床心理士養成指定大学院1種)および公認心理師を養成するための内部実習機関です。構成員は、臨床心理学コース教員および大学院生を中心としています。

STAFF スタッフ

安保 英勇 室長・准教授
前田 駿太 副室長・准教授
若島 孔文 教授
本多 奈美 准教授
吉田 沙蘭 准教授
シュレンベル レナ 助教

発達・学習心理相談室

発達の問題や気がり、学習のつまずきなど、乳幼児期から青年期に至るまでの子どもとその保護者への対応の仕方に苦慮する教育・福祉等諸領域の専門家に対して、より専門的なコンサルテーションを実施し、子どもとその保護者に対して求められる発達・学習支援を行います。構成員は、教育心理学コース教員中心としています。

STAFF スタッフ

川崎 聡大 室長・准教授
神谷 哲司 教授
工藤 与志文 教授
長谷川 真里 教授
野口 和人 教授

災害心理支援室

震災子ども支援室から資料および連携機関を引き継ぎ、(1)災害遺族支援・災害里親支援、(2)緊急支援・被災者支援、(3)災害心理教育を行っていきます。また、災害地域が僻地の場合、遠隔での支援体制を整え、遠隔支援システムを導入します。構成員は、教育学研究科の教員を中心としています。

STAFF スタッフ

若島 孔文 室長・教授
李 仁子 准教授
石井山 竜平 准教授

遠隔支援チーム

引きこもり者、介護者家族、遠隔地在住者等遠隔で支援を求める方への幅広いご相談に応じています。





先端教育研究実践センター

先端教育研究実践センターは、社会的に重要な教育課題について、より機動的に対応するとともに、プロジェクト等への参加を通して学生が研究力・実践力を高めることのできる組織です。「重点研究プロジェクト部門」「地域教育支援部門」「研究・教育支援部門」「国際交流支援室」の各組織が研究や教育をめぐる取り組みを進めています。

STAFF スタッフ

小嶋 秀樹	センター長・教授	安保 英勇	副センター長・准教授
劉 靖	センター員・准教授	尹 得霞	センター員・助教
閻 琬新	センター員・助教	大河 雄一	センター員・助教
ダグワドルジ アディアニヤム	センター員・助教		
内藤 隆史	センター員・助教		



先端教育研究実践センターについて
詳しくはこちら

国際シンポジウム・提携校

グローバルな研究活動を行う東北大学は、海外の著名大学の研究者との共同研究交流を重視しています。そのような交流を推進するために、東北大学は、2022年5月現在で世界253大学や機関と大学レベルでの交流協定を締結しており、さらに東北大学の単数もしくは複数の部局(研究科や研究所)が独自に472か所の海外の大学や機関と部局間協定を結んでいます。教育学部(教育学研究科)については、以下の20の大学・機関と部局間協定を結び、活発な研究交流や学生の相互派遣を行っています。



国際シンポジウム・提携校について
詳しくはこちら



大学・機関と部局間協定先一覧

- ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション
- 北京大学日本研究センター
- 明知大学校社会教育大学院
- ヨーク大学教育学部
- 国立台東大学師範学院
- 又松(ウソン)大学校保健福祉学部
- 南京師範大学教育科学学院
- 国立台湾師範大学教育学院
- 高麗大学校師範大学
- 国立政治大学教育学院
- 杭州師範大学教育科学学院
- 北京師範大学教育学部
- 南京師範大学心理学院
- 華東師範大学教育学部
- 華東師範大学心理与認知科学学院
- ソウル国立大学校師範大学
- 東北師範大学教育学部
- 国立インドネシア教育大学教育学部・大学院研究科
- UNESCO バンコク事務所
- 天津大学教育学部

AEL COURSE

AELは「Asia Education Leader」の略で、アジア、特に東アジアにおける教育課題に対応できる国際的視野をもった指導の人材の育成を目指す国際共同教育プログラムです。



AEL COURSE について
詳しくはこちら





● 各種奨学金制度

経済的な応援が心と暮らしをいきいきと豊かにします。

■ 奨学金制度

優秀な学生のために、日本学生支援機構による奨学金（第一種・無利子、第二種・有利子）の貸与があるほか、令和2年度からは修学支援新制度により学部学生を対象とした給付型奨学金が始まりました。その他、地方公共団体・民間奨学金団体による奨学金の貸与や給付の制度があります。経済面のしっかりした支援体制で、研究者養成を助けます。どの奨学金も学業成績の優秀な学生、そして経済的理由で修学困難な学生に資格が与えられます。学生生活を円滑に送るため、大切なライフプランニングに役立てることができます。

● TA・RA制度

未来の教育指導者、若手研究者をしっかりサポートします。

■ TA(ティーチング・アシスタント)

TA制度は、教育学部・博士課程前期2年の課程の授業をアシストするシステムです。成績優秀な大学院生が担当し、手当(時間給)が支給されます。学生を教育指導できる実践トレーニングの経験としてのメリットに加え、この体験は現実世界と理論とを融合させる格好の機会にもなります。

■ RA(リサーチ・アシスタント)

RA制度は、博士課程の大学院生が研究科の研究プロジェクトに参画し、研究に必要な補助を行うシステムです。資格は博士後期3年の課程に在籍する優秀な学生に与えられ、手当(時間給)が支給されます。教員とマンツーマンで、研究の進め方や理論構築のノウハウなどを吸収できます。大学側の研究支援体制を強化するとともに、若手研究者の養成をサポートする充実した内容となっています。

● 日本学術振興会特別研究員制度

創造性豊かな研究者養成のために研究奨励金を支給します。

大学院博士課程在学者及び修了者などで優れた研究能力を備え、大学その他の研究機関で研究することを希望する研究者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。

特別研究員になると、主体的に研究課題や研究の場などを選びながら、研究に専念する機会を持つことができます。わが国の学術研究の将来を担う、創造性に富む研究者の養成を目的としています。

● 博士研究員制度

就職前のポスドクの研究環境を保障します。

博士研究員は、教育学研究科又は教育情報学教育部の博士課程3年の課程を修了した者を対象に研究者としての地位を保障する制度です。博士研究員は、授業料を払わずに本学の施設・設備の使用、指導教員による指導を受けることができ、さらに本学の研究者としてさまざまな研究費に独自に応募することができます。

● 東北大学学際高等研究教育院制度

新領域を創造する若手研究者を支援します。

東北大学学際高等研究教育院とは、既存の研究科・教育部の枠にとらわれず、新しいタイプの異分野融合からなる新領域の学際的研究を創造し、世界トップレベルの研究者を目指す若手研究者養成のための、東北大学独自の支援組織です。奨学金支給、論文投稿諸費用や学会、国際会議出席費用等の各種支援を受けられるほか、研究計画に見合った研究費や研究環境又は国際インターンシップのための助成、ポスドクの雇用等の支援事業を行っています。また、教育学研究科に所属しながら「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」に採用されることで、奨学金や研究費の助成が受けられます。

● 長期履修制度

個々の事情にもとづいた修業年限の設定が可能です。

長期履修制度は、職業に従事している等の個人的事情により修学に専念できない大学院生を対象に、標準修業年限(前期課程2年・後期課程3年)を超えて在学することを認めるシステムです。授業料も標準修業年限分の納入額のみとなります。この制度は、より多くの人びとに大学院教育の機会を提供することがねらいです。



学生支援制度
についてはこちら



令和3年度 博士論文

- 女子中学生が剣道授業に対して抱くイメージに関する研究
- 数学教育における越境的学習の研究 ―アイデンティティ変容に注目して―
- 理学療法士養成課程学生の学習動機づけに関する研究 ―初年次の学習、臨床実習、国家試験対策に着目して―

令和3年度 修士論文(抜粋)

- ヒューム知性論の教育学的検討
- 近代日本における「国楽」と学校音楽教育
- 公立高校再編が教育活動に及ぼす効果 ―2000年代以降の「学科統合型」高校と総合学科高校に着目して―
- フル・サービス・コミュニティ・スクールの運営におけるコーディネーターの役割と職務意識の分析
- 芸術家の存在論的学習 ―再帰的創造による自己形成―
- 国際共修授業における学習効果 ―異文化間能力の「柔軟性」に着目して―
- 教師が語るストーリーによる教師アイデンティティの探究 ―Clandininらによるナラティブ概念を用いて―
- 子どもの音程感覚を育成するためのICT教材の開発
- 情報リテラシー尺度の作成と信頼性および妥当性の検討
- 精神障害のある親を持つ子どもに対する心理教育に関する検討
- てんかん患者における心理専門家への援助要請の実態
- 公的機関に保護されなかった被虐待児の対処方法及び資源に関する研究
- 目的本位に基づく介入による反すうの軽減についての検討
- 精神障害のある親を持つ子どもに対する心理教育に関する検討



博士論文・修士論文
についてはこちら

令和3年度 卒業研究(抜粋)

- 新型コロナウイルスの流行に伴う外出自粛と性格特性が大学生の自傷行為に及ぼす影響
- 日本における場面緘黙児に対する心理学的支援の実態
- 非同期型学習用教材における多様な学習者のための字幕配置に関する検討
- 中学校における校内居場所カフェの役割と継続可能性に関する研究 ―西東京市の「子ども放課後カフェ」を事例として―
- 人体に関する情報提示が筋肉トレーニングに関する認識に及ぼす効果 ―運動部に所属する大学生を対象に―
- ローカル駅伝チームにおけるつながりの柔軟性 ―メンバーの多層性に着目して―
- アイドル育成の分析を通じた教育法の検討
- 資格試験・選抜試験における誤判定率のIRTモデルにもとづくシミュレーション研究
- Instagramの利用における外見比較が大学生女子の瘦身願望に及ぼす影響
- 「誰一人取り残さない」教室づくりに向けて ―学びのユニバーサルデザイン・教育へのICT活用・イェナプラン教育から考える―
- 大学生におけるほめの捉え方と自尊感情の関連 ―ほめの質的側面に着目して―
- 技能実習生を受け入れるということ
- 情報化社会を生きる私たちの「生」 ―オルテガ・イ・ガセット『大衆の反逆』に即して―
- 大学生におけるインターネット上の攻撃的な投稿への接触量と罪悪感がインターネット上の攻撃行動に及ぼす影響
- 聴者向け手話教育の充実を目指すために
- 仕事と家庭の両立評価の規定要因分析 ―両立支援制度利用実態に着目して―
- 高等学校における男女別学校の歴史
- 夫婦の生活時間と生活満足度 ―共働き家庭・片働き家庭に着目して―
- 東京パラリンピック開催後における小学生の障害理解についての検討 ―パラリンピック教育および競技映像視聴との関連から―
- 日本舞踊における伝統継承意識と指導に関する研究



卒業研究
についてはこちら

東北大学教育学部Q&A

Q1 東北大学の教育学部と他の大学の教員養成学部とは、どこが違うのですか？

A1 国立大学の教育学部には2種類あって、教員養成を目的とした教育学部と、教育学や心理学の研究・教育を目的とした教育学部があります。東北大学の教育学部は後者のほうです。

Q2 それでは、東北大学の教育学部では教員になれないのですか？

A2 中学校の社会、高等学校の公民の免許状が取れます。
その他にも、他学部の授業を履修することで、国語や英語、数学、理科の免許状も取得できます。

Q3 教育学部に行けばカウンセラーになれるのですか？

A3 カウンセラーといっても様々な資格がありますが、教育学部/教育学研究科では「公認心理師」や「臨床心理士」に対応したカリキュラムを提供しています。
公認心理師の受験資格を得るためには、教育学部および文学部で開講される必修科目を履修し、卒業後に臨床心理学コースの修士課程を修了するか、認可を受けた施設で2年間の実務経験を積むことが必要です。また臨床心理士の受験資格を得るためには、臨床心理学コースの修士課程を修了することが必要です。いずれの場合も、教育学部で関連分野について幅広く学んだ上で、大学院や実務研修機関でさらに専門的な学びを深めることになります。

Q4 教育学部で学ぶ心理学と、文学部で学ぶ心理学では、どこが違うのですか？

A4 文学部では実験心理学や社会心理学の基礎的問題の解明に取り組んでいます。具体的には「視覚認知心理学」「感情心理」「ストレス、化粧、顔、香りに関する心理学」「地域社会における資源交換」「異文化体験」などが研究されています。
一方、教育学部では、広い意味での「教育」、すなわち、人と人とのかわりに関する心理学が中心です。具体的には、教える、学ぶ、発達する、支援するといった行動やその心理学的実践をテーマとしています。主だった心理学の領域としては、「教育心理学」「学習心理学」「発達心理学」「障害児者心理学」「臨床心理学」などが学べます。

Q5 東北大学の教育学部を卒業すると、何になれるのですか？

A5 もちろん教員を目指す人もたくさんいますが、それ以外に企業や教育行政、矯正施設や福祉施設の中で自分の学んだ教育学・心理学を生かす人も大勢います。さらに、東北大学教育学部は、数少ない「大学院大学」の教育学部ですから、さらに高度な専門的能力を身につけるために大学院に進学する人も多くいます。

東北大学教育学部 Q&A
詳しくはこちら



東北大学大学院教育学研究科
東北大学教育学部

〒980-8576 仙台市青葉区川内27番1号
TEL | 022(795)6105
URL | <https://www.sed.tohoku.ac.jp/>

